

医療機関等アンケートの結果について

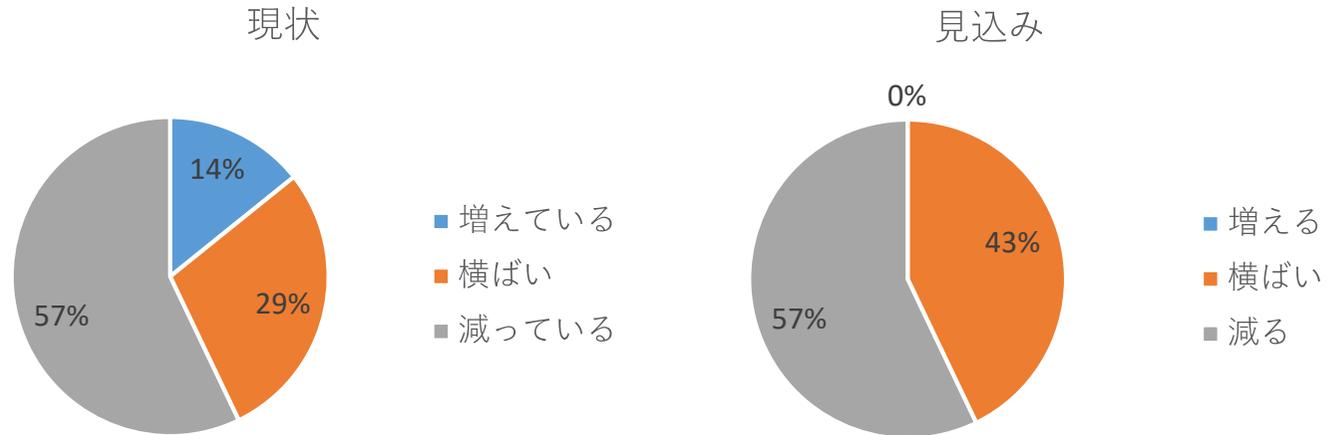
実施時期：令和7年8月～10月

調査対象：

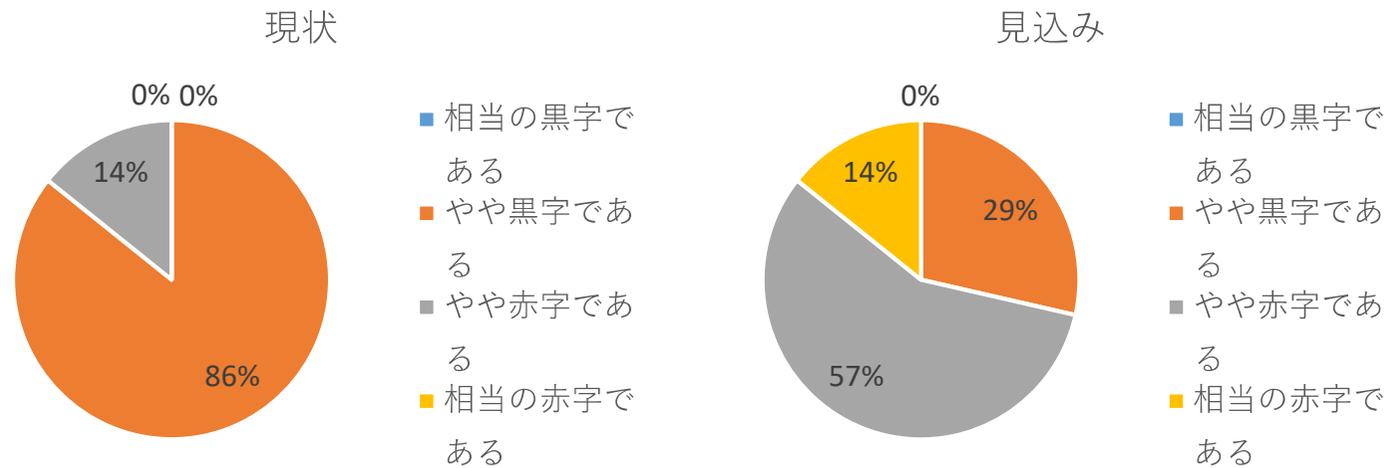
| | 対象数 | 回答数 | |
|--------|-----|-----|-----------|
| 病院・診療所 | 13 | 12 | 病院3、診療所10 |
| 歯科診療所 | 10 | 7 | |
| 薬局 | 13 | 13 | |

【歯科診療所】

1. 患者数（実績と見込み）



2. 運営収支（実績と見込み）



【歯科診療所】

3. 経営上のリスク・課題（その1）

○材料費等の高騰と保険診療の制限（N = 4）

（材料費や技工料金に比し、診療点数が低い、数をこなして挽回といった面がある。学校検診や講演等の公的事業の受託を断らざるを得ないおそれ）

○高齢化と後継者不足（N = 2）

（歯科医院の高齢化と後継者不足が顕著。重い機材を持参する在宅診療ができなくなるおそれ。医科のように補助がなければ無歯科医地区となる可能性が高い）

○人員の確保（N = 2）

（スタッフ教育にも費用がかかる）

○設備・機器の更新（N = 1）

（年々高くなっている医療水準に見合った精度の高い機材の整備が求められる）

【歯科診療所】

3. 経営上のリスク・課題（その2）

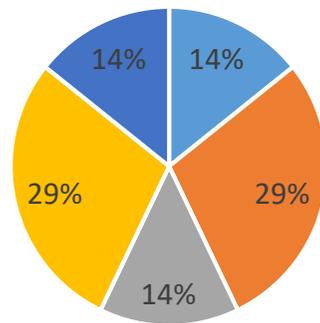
○その他（N = 1）

- ・無断キャンセルが多く、診療の枠が空いてしまう。
- ・歯に対する知識・関心が他の地域と比較して低い。

【歯科診療所】

4. 事業継続について

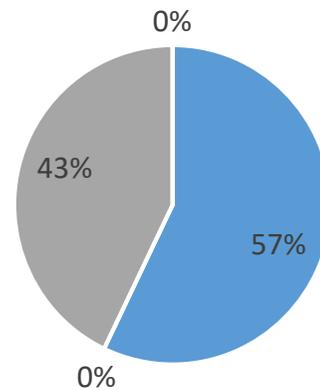
後継者の有無



- まだ後継について問題にする時期ではない
- 後継予定者が決まっている
- 探しているが未定
- 後継はいない
- その他

・「探しているが未定」・「後継はいない」が合わせて43%

事業継続意向



- 継続できる
- 承継先を探している
- 廃業を考えている
- その他

・「探しているが未定」・「後継はいない」と答えた診療所が、廃業を考えていると回答
・「継続できる」とした中でも、継続できる期間は5年との回答あり。

【歯科診療所】

5. 医療ビジョン（今後の医療の方向性）について

○医療機関への支援について

- ・一番必要なのは人材確保に対する支援で、次に機材の整備に対する支援。
- ・現在、地域医療を支えている医療機関への金銭的援助があればよい。
- ・医療DXを推進するための初期費用やメンテナンス、アップデートに対応する人材の確保と費用に対し、行政からの支援は必要。

○歯科医師の確保について

- ・今後、この地区は歯科の新規開業はおそらく不可能で、現在の医院の継続以外に方法がない。

○縮小方法について

- ・歯科医師数が減っている以上、各種検診や保健事業の受託、訪問診療の縮小や中止が懸念される。
- ・医療資源に限られる中、どのように歯科診療を今後縮小していくかが重要（障害者施設への訪問診療など）。